

トップニュース

道産木材ショーケース事業に参画

新十津川農業高校
普通教室改築工事

北海道庁は、道有施設の整備（新築・改築・増築・改修）の際に道有木材の供給により、施設の木造化、内装の木質化を推進し、道産木材のショーケースとする事業【道産木材ショーケース事業】を展開しています。

このほど、パネ協は本事業の一環として、新十津川農業高校（北海道樺戸郡）においてトドマツ材をふんだんに使った同校の改築工事に携わり、2023年7月に竣工いたしました。

使用したトドマツ材は、北海道庁が所有する山林から原木を北海道庁が自ら伐採して製材工場まで運搬を行い、パネ協は、木材加工及び取付工事を担当いたしました。

具体的には、視聴覚ホールの腰壁・天井部分、教材室の家具、廊下・階段の手すりを施工しました。階段室は皮むき半割丸太を壁に列柱した意匠が特徴となっています。また、生徒用玄関のルーバーなどの大きな断面の部材は、製材工程で割れが発生するおそれがあるため、集成材に加工した部材を採用しています。



外観



視聴覚ホール



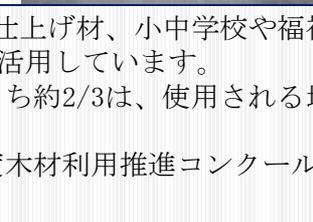
階段室



教材室



廊下



生徒用玄関

所在地：北海道樺戸郡新十津川町
竣工：2023年7月

設計：株式会社創建社
施工：株式会社中山組

パネ協は、集合住宅の間仕切りや棚などの各種木質パネルの芯材、床の下地や仕上げ材、小中学校や福祉施設の内外装や家具、建具、手すりに加え 外構にも地場産材をはじめとする国産材を積極的に活用しています。

パネ協における2023年度の国産材の使用実績は4,593㎡で、使用した国産材のうち約2/3は、使用される地域で生産された地場産材が占めています。

こうした実績を踏まえ、パネ協は、木材利用推進中央協議会による「令和6年度木材利用推進コンクール(国産材利用推進部門)」に応募いたしました。

パネ協事務局新体制

東日本支所

★担当地域：

北海道、東北6県、関東7都県、新潟県、長野県、山梨県



副支所長
秋澤 義徳

令和6年度より、北海道、東北エリアを主に担当いたします。

木材活用に貢献できるパネル工法での公営・公的住宅の内装工事をはじめ、公的施設、文教施設、老健施設、民間集合住宅など様々な内装工事に携わっております。

資材価格高騰、職人不足など多くの課題がありますが、パネ協へのご期待に応えられるよう職員一丸となり、知恵をしぼってまいります。



副支所長
中島 真

令和6年度より主に関東エリアを担当します。弊組合のパネル工法は、現場での施工時間短縮、コスト削減、安定した品質の確保に有効で、労働時間制限、職人不足等の様々な問題解決に繋がると考えています。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、公的施設における、地場産木材・国産木材利用を強く推進してまいります。

今後とも内装のプロフェッショナル集団としてお役に立てるよう活動してまいります。

商品紹介 透彫壁材「レーザーボード」

通る光も、隔てる影も、美しく

「レーザーボード」は、集成材、合板、石膏ボード、アルミ、スチールなど様々な素材を高次元レーザー加工技術で高精度切削し、壁材としてご提供いたします。

和洋の伝統文様からボタニカルパターンまで、手作業でも難しい鋭角的なデザインパターンもシャープに再現することができます。また、柔らかな曲線加工も自在で、組子細工のような複雑なデザインも再現可能です。木質素材の場合、切削断面に独特の焦色が残る、陰影をより際立たせます。

デザインのCADデータをご提供いただくことで、お客様の自由なイメージを形にすることも可能です。



樹木シリーズ



組子風シリーズ
弥生



施工事例



プロジェクト紹介

益田広域消防本部庁舎 天井羽目板工事 (島根県益田市)

不燃木材 NMウッド

島根県益田市、津和野町、吉賀町をカバーする「益田広域消防本部」新庁舎工事が2024年3月に竣工し、同7月1日に業務が開始されました。

本工事において、本庁舎棟の展示コーナー天井にパネ協の不燃木材「NMウッドすぎ集成」(色はブラウン)をご採用いただきました。今回使用した不燃木材は、ご指定のあった地場産材「益田市高津川流域産杉」を用いて製作したものです。

「NMウッド すぎ集成」は、国土交通省認定の不燃木材で、耐火性能のある建築材料の使用が法令で求められている公共建築物や商業施設等の壁や天井などにも、そのまま使用することができます。また金沢工業大学の露本伊佐男教授の特許技術により、結露による液だれがなく、白華が生じにくいという特徴があります。



益田広域消防本部全景



本庁舎棟



全景写真とロゴマークは「益田広域消防本部」のホームページから転載させていただきました。



NMウッドのカタログはこちらをご覧ください

本庁舎棟	施主: 益田地区広域市町村圏事務組合
所在地: 島根県益田市久城町300-5	設計: 有限会社 一級建築士事務所 ヤマシタ設計
構造: 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造	施工: 大畑建設・森本建設・高橋建設特定建設工事共同事業体
階数: 2階建	竣工: 2024年3月

UR都市機構 アクシオス千種エントランス改修(名古屋市中区)

2024年6月、独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅アクシオス千種(愛知県名古屋市中区)のエントランス改修工事が竣工しました。

本工事において、エントランスの壁にパネ協の不燃タイプピールドウォール「みなも」をご採用いただきました。

不燃タイプピールドウォールは、ケイカル板の表面にデザイン加工を施した壁材です。加工した凹凸の陰影が創り出す表面のさまざまな表情により一般住宅から店舗まで、あらゆるスペースにご使用いただけます。



エントランスホール



エントランスホールの壁



みなも柄

所在地: 愛知県名古屋市中区
 施工: 日本総合住生活株式会社
 竣工: 2024年6月



エレベーターホール

パネ協事務局新体制

西日本支所

★担当地域:

九州地方7県と沖縄県、中国地方5県、四国地方4県



副支所長 脇田 教雅

令和6年度より、西日本支所副支所長として九州・沖縄地区を担当しています。昨今の建設業については、現場の請負体制を確保するうえで厳しい状況が続いていますが、技術者としてプロ意識を忘れず、これからも快適な居住空間の創造を通じて社会に貢献できるよう、お取引先の皆様から愛され、信頼される組織づくりを目指し、日々精進してまいります。



副支所長 木本 直樹

今年度より、中国地方、四国地方を担当しています。近年、気候変動や自然災害、国際紛争や為替変動など社会情勢が目まぐるしく変化する中で、建築業界を取り巻く環境も資材価格上昇、配送問題、時間外労働の上限規制、担い手不足の顕在化等厳しい環境下ではありますが、職員一丸となってお客様のニーズにお応えできるよう努めてまいります。

短信

東北工業大学建築学科に講師派遣

2024年7月4日、東北工業大学建築学科の「建築プロフェッショナル論」の講義に、パネ協より東日本支所東北営業所の佐藤義久職員を講師として派遣いたしました。当日は3年生約150名に、「内装部材・内装設計・企画調整」をテーマに講義を行いました。



YouTube パネ協チャンネル配信中

YouTubeの「パネ協チャンネル」では、弊組合の事業紹介、内装パネル工法などの施工動画、不燃木材NMウッドなどの商品紹介、パネ協による内装木質化の施工事例など21本の動画を配信しています。

今後も、新作を配信予定です。是非ご覧ください!

